

平成26年度全国学力・学習状況調査

柏原市における結果の概要について

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査の概要

1. 調査日 平成26年4月22日(火)
2. 対象学年 小学校6年生・中学校3年生の全児童・生徒
3. 調査内容 小学校6年生 国語AとB・算数AとB・質問紙調査
中学校3年生 国語AとB・数学AとB・質問紙調査

調査A

- 主として「知識」に関する問題
- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす
- 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていること

調査B

- 主として「活用」に関する問題
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる
- 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等についての調

調査の結果の公表

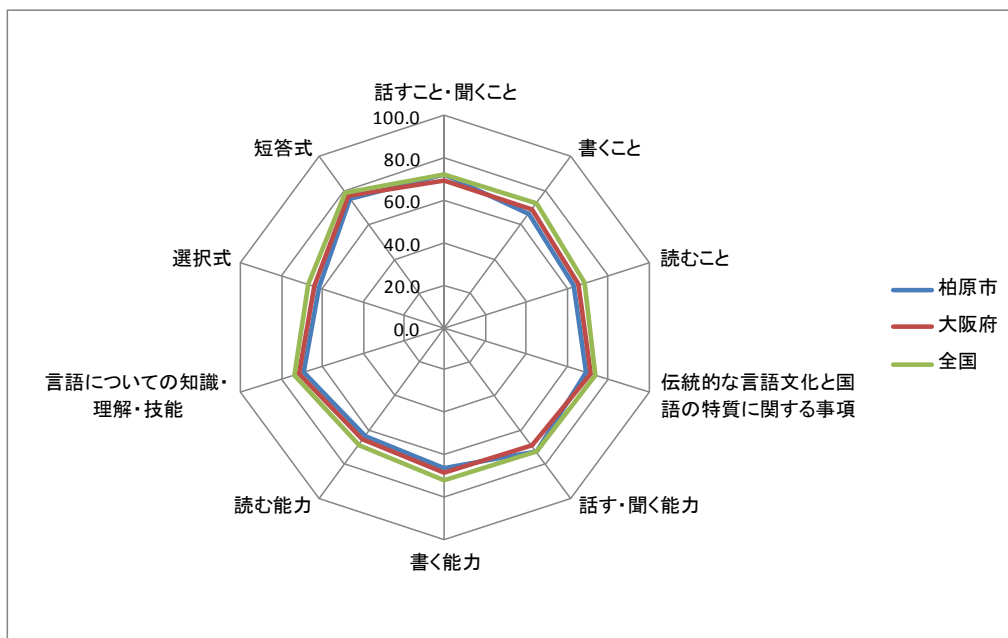
- この調査から測定できるのは学力の特定の一部で、学校における教育活動の一側面に過ぎません。序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮します。
- 他校との優劣の比較が目的ではありません。柏原市全体の児童生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。
- 知育、徳育、体育を含めた広い意味で学力向上に役立てることを目的として、公表にあたっては、学校名を明らかにしません。

各教科別の調査結果の概要

各教科別の調査結果の概要

①小学校国語A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	68.6
大阪府(公立)	70.7
全国(公立)	72.9



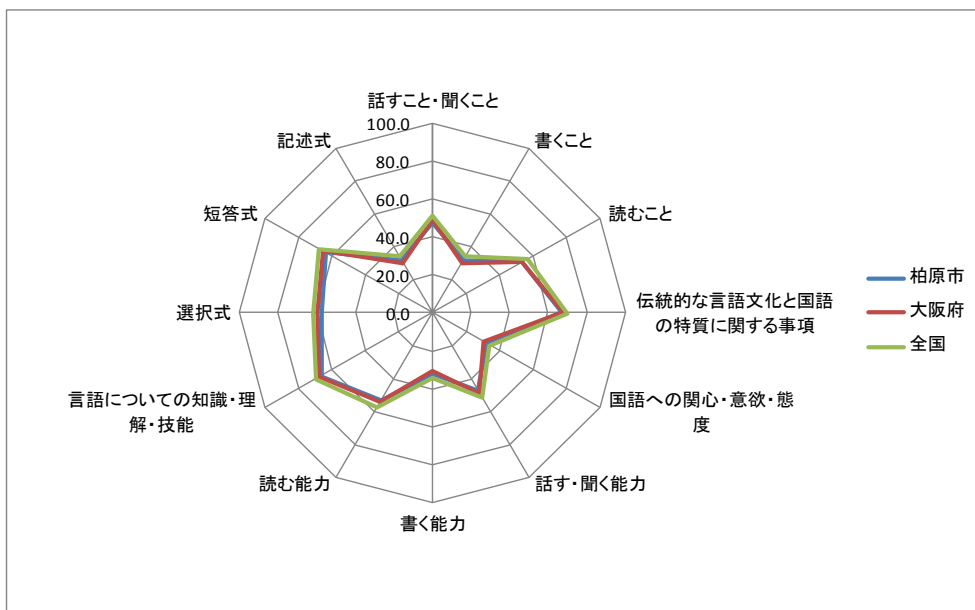
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1
	書くこと	3
	読むこと	2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0
	話す・聞く能力	1
	書く能力	3
	読む能力	2
	言語についての知識・理解・技能	12
問題形式	選択式	7
	短答式	8
	記述式	0

「話すこと聞くこと」に改善がみられ、「読むこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に課題が見られます。

②小学校国語B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	51.6
大阪府(公立)	52.6
全国(公立)	55.5



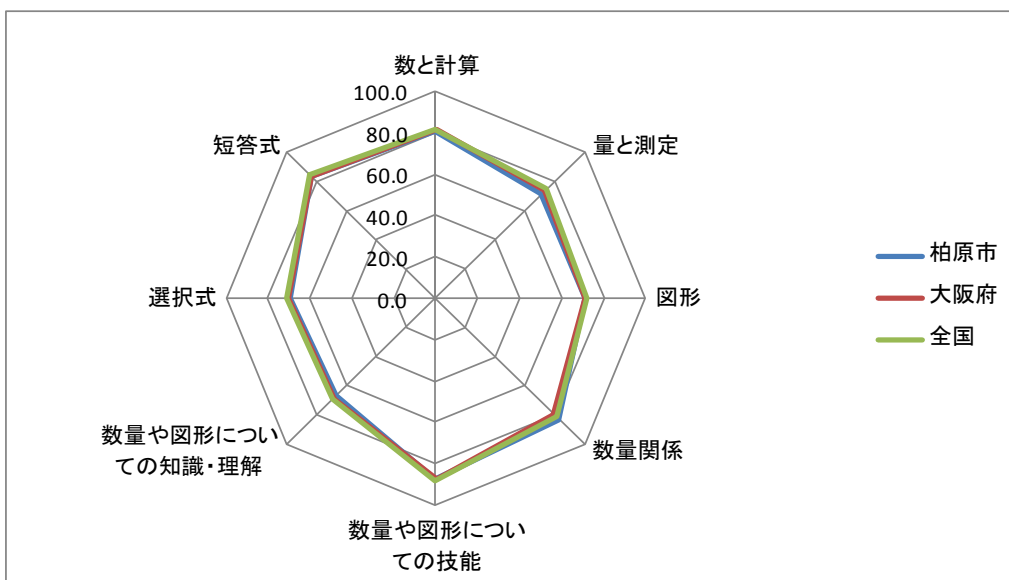
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3
	書くこと	3
	読むこと	7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	3
	書く能力	3
	読む能力	7
	言語についての知識・理解・技能	2
問題形式	選択式	4
	短答式	3
	記述式	3

「国語への関心意欲態度」「書くこと」「記述式」が府平均を上回っています。

③小学校算数A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	76.8
大阪府(公立)	77.3
全国(公立)	78.1



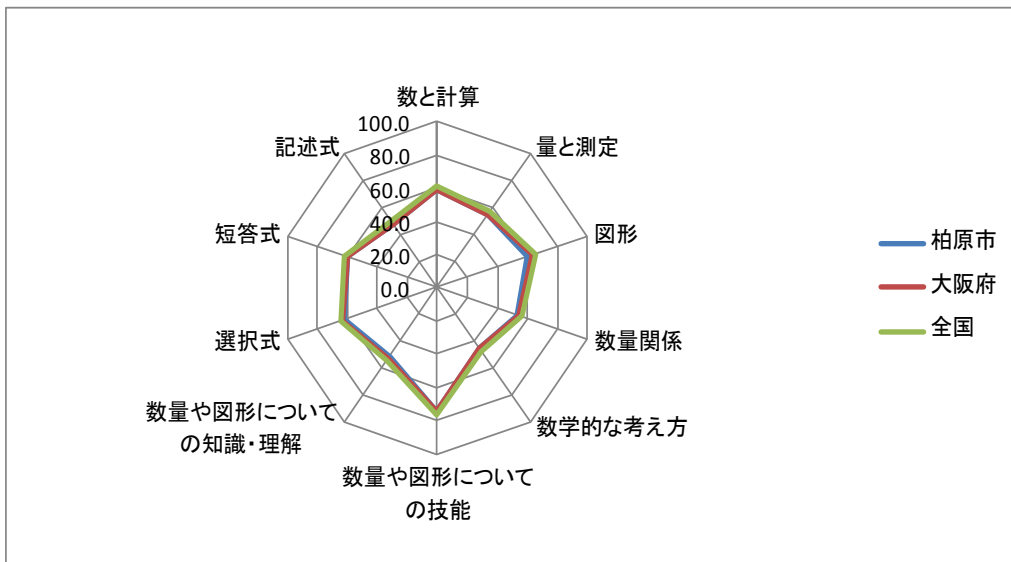
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	8
	量と測定	3
	図形	4
	数量関係	3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	0
	数量や図形についての技能	8
	数量や図形についての知識・理解	9
問題形式	選択式	8
	短答式	9
	記述式	0

「数量関係」が全国平均を上回っています。

④小学校算数B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	55.7
大阪府(公立)	56.3
全国(公立)	58.2



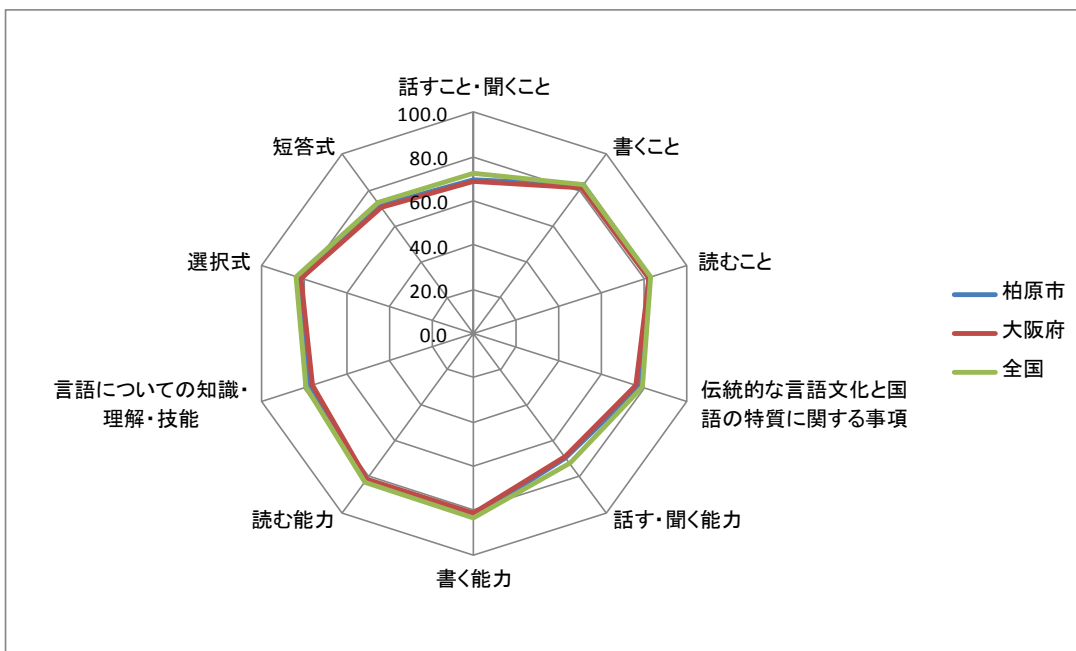
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と計算	8
	量と測定	5
	図形	1
	数量関係	5
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0
	数学的な考え方	6
	数量や図形についての技能	4
	数量や図形についての知識・理解	3
問題形式	選択式	4
	短答式	4
	記述式	5

昨年度と同様「量と測定」に課題が見られます。

⑤中学校国語A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	77.9
大阪府(公立)	77.0
全国(公立)	79.4



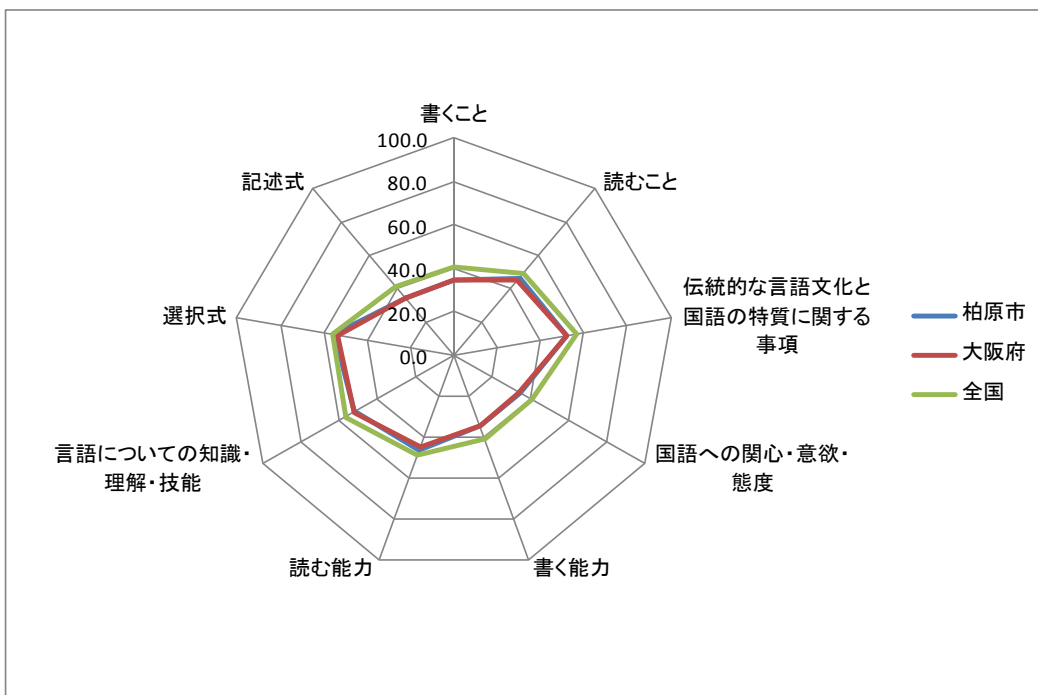
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4
	書くこと	6
	読むこと	5
	言語事項	17
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0
	話す・聞く能力	4
	書く能力	6
	読む能力	5
	言語についての知識・理解・技能	17
問題形式	選択式	20
	短答式	12
	記述式	0

すべての項目で大阪府平均を上回り、昨年度と比較して、改善が見られました。

⑥中学校国語B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	48.3
大阪府(公立)	47.2
全国(公立)	51.0



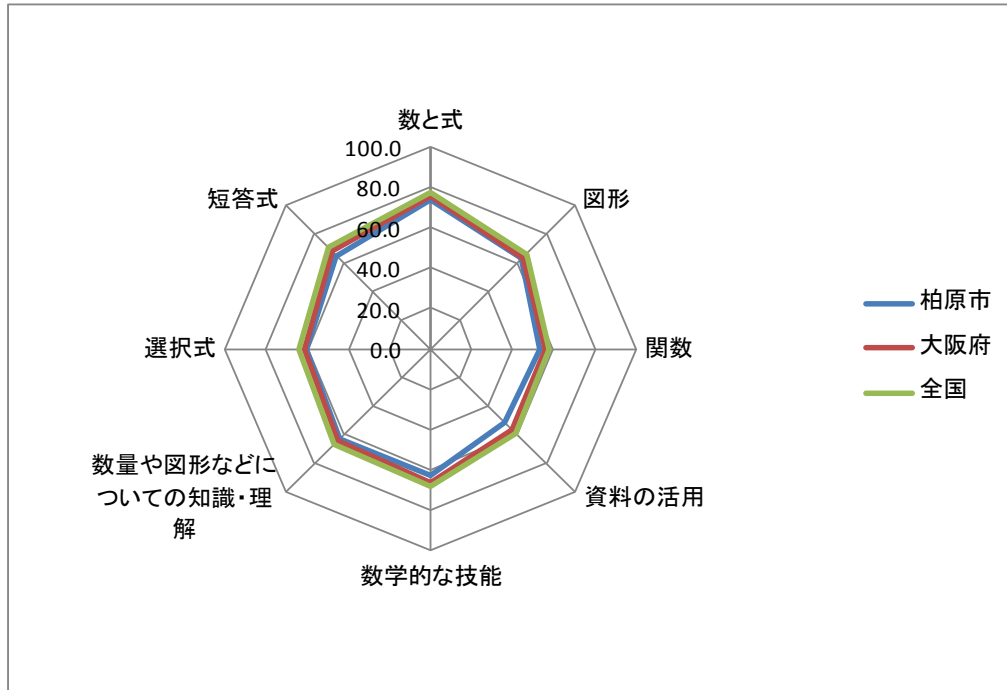
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0
	書くこと	3
	読むこと	8
	言語事項	4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3
	話す・聞く能力	0
	書く能力	3
	読む能力	8
	言語についての知識・理解・技能	4
問題形式	選択式	6
	短答式	0
	記述式	3

昨年度と比較して、すべての項目において改善傾向が見られます。

⑦中学校数学A(主として知識に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	62.8
大阪府(公立)	65.0
全国(公立)	67.4



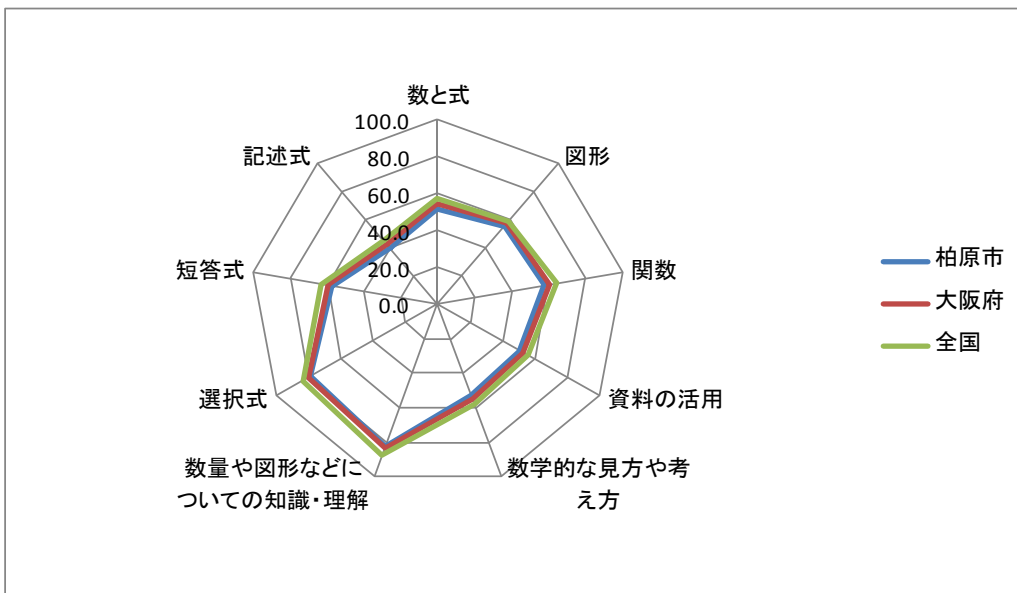
各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	12
	図形	12
	関数	8
	資料の活用	4
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	0
	数学的な技能	15
	数量、図形などについての知識・理解	21
問題形式	選択式	18
	短答式	18
	記述式	0

「資料の活用」に課題が見られます。

⑧中学校数学B(主として活用に関する問題)

	平均正答率(%)
柏原市	54.9
大阪府(公立)	56.9
全国(公立)	59.8



各項目については以下の表にあるように3つの視点から分類されています。

分類	区分	対象設問数(問)
学習指導要領の領域等	数と式	3
	図形	5
	関数	5
	資料の活用	2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0
	数学的な見方や考え方	14
	数学的な技能	0
	数量、図形などについての知識・理解	1
問題形式	選択式	3
	短答式	6
	記述式	6

昨年度と比較して、全国平均との差が縮小されました。

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

生活習慣や学習環境に関する質問紙調査結果の概要

基本的な生活習慣

「朝食を毎日食べていますか」

「普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)」

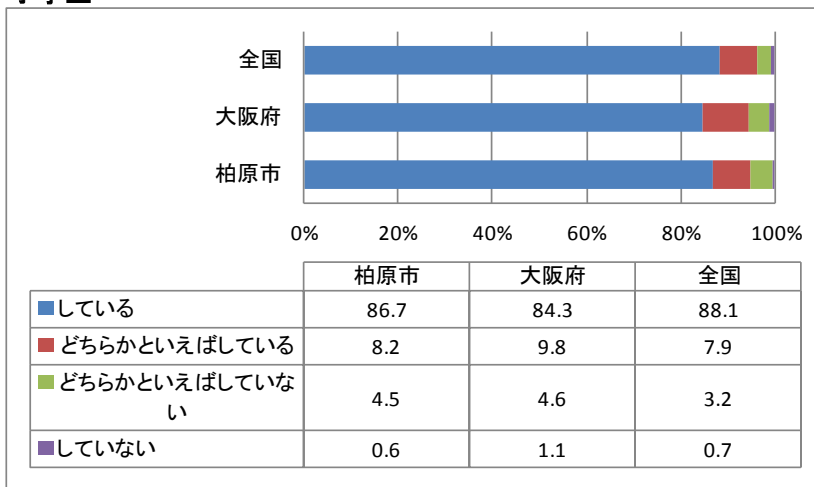
・朝食を食べている本市の児童・生徒の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。朝食を食べている児童・生徒はそうでない児童・生徒より正答率が高い傾向にある。

・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを長時間する本市の児童・生徒の割合は、児童・生徒共に、全国及び大阪府平均並みである。長時間使用する児童・生徒の正答率は低い傾向にある。

①朝食

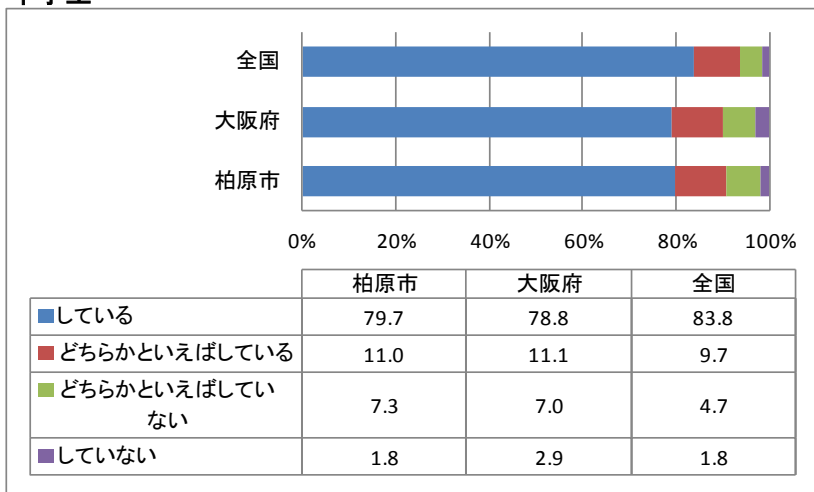
「朝食を毎日食べていますか」

小学生



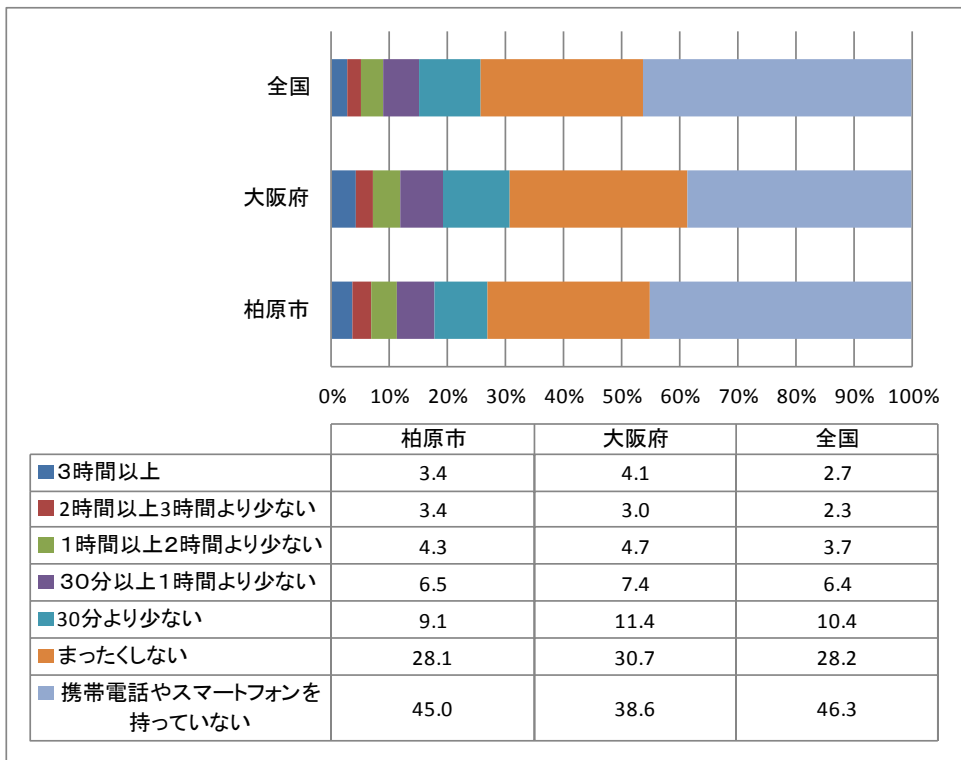
朝食を食べている本市の児童の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。朝食を食べている児童はそうでない児童より正答率が高い傾向にある。

中学生



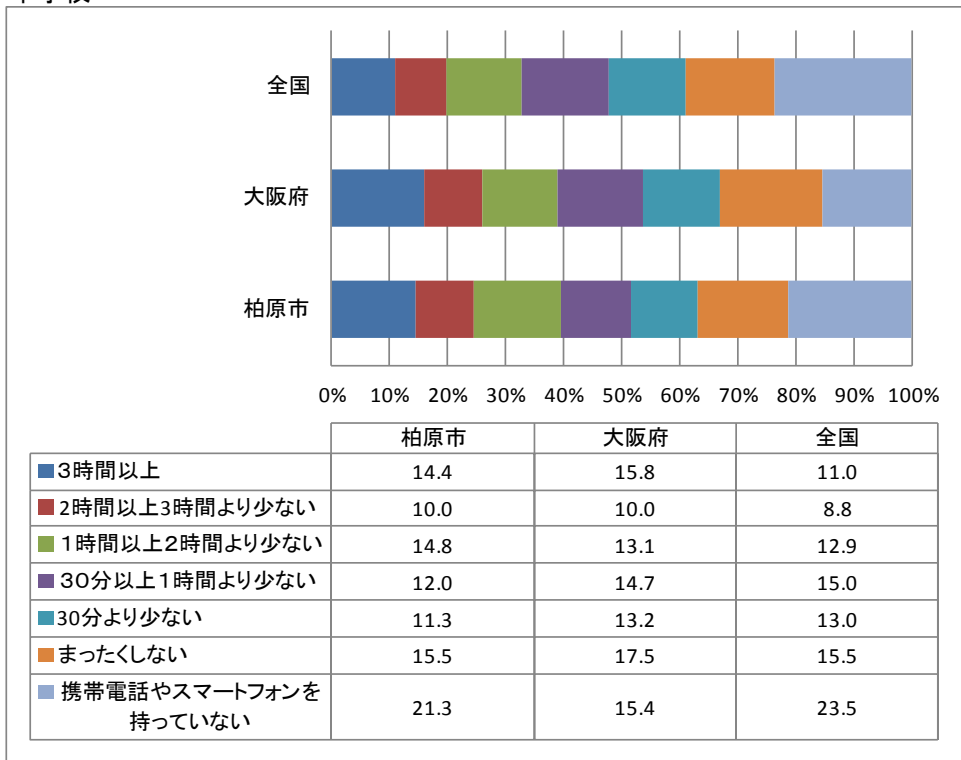
朝食を食べている本市の生徒の割合は大阪府平均より少し高く、全国平均より少し低い。朝食を食べている生徒は全ての教科において正答率が高い傾向がある。

②スマートフォン
小学校



携帯やスマートフォンの使用状況はほぼ全国並みである。クロス集計の結果、携帯やスマートフォンを長時間使用するほど正答率が低下する傾向がある。

中学校



携帯やスマートフォンの使用状況はほぼ全国並みである。クロス集計の結果、携帯やスマートフォンを長時間使用するほど正答率が低下する傾向がある。

家庭学習、学習意欲の概要

家庭学習、学習意欲

「自分で計画を立てて勉強をしますか」

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)」

「国語・算数・数学の勉強は好きですか」

・自分で計画を立てて勉強している本市の児童の割合は全国及び大阪府平均を下回っている。自分で計画を立てて勉強している児童の正答率が高い傾向にある。

・本市の児童・生徒の休日の学習時間は全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭学習を4時間以上取り組む児童の正答率が高い傾向である。また、生徒の家庭での学習時間と正答率には比例関係に似た状況がみられる。

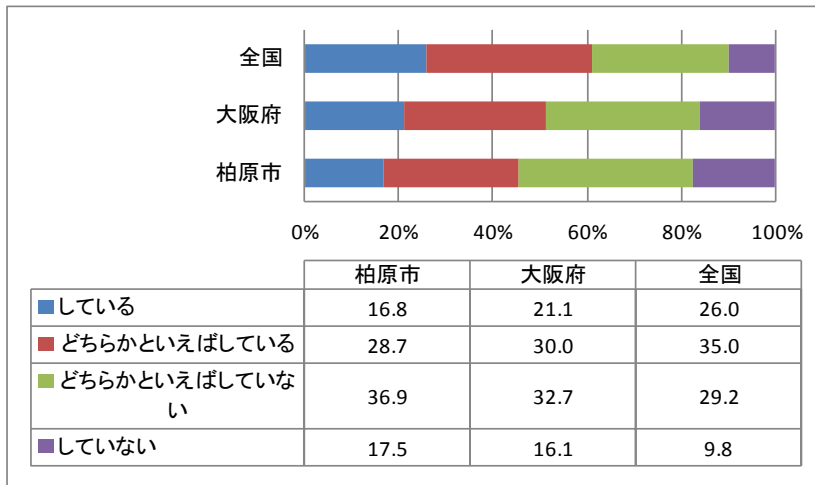
・本市の児童・生徒の国語・算数への3つの質問は、全国及び府平均並であった。

・本市の生徒への「数学の授業の内容はよくわかりますか」という質問に対してあてはまると答えた割合が、全国及び府平均より高かった。

①学習計画

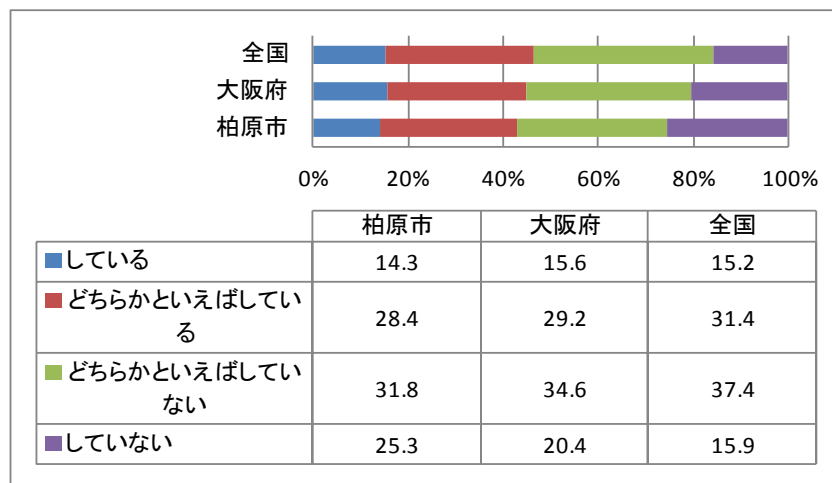
小学校

「自分で計画を立てて勉強をしますか」



自分で計画を立てて勉強している本市の児童の割合は全国及び大阪府平均を下回っている。自分で計画を立てて勉強している児童の正答率が高い傾向にある。

中学校

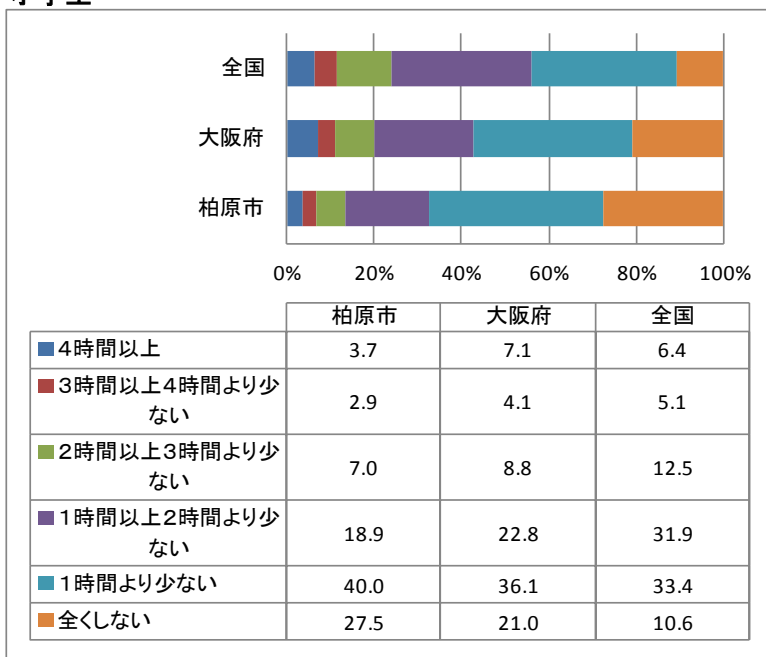


自分で計画を立てて勉強している本市の生徒の割合は全国及び大阪府平均より少し低い。自分で計画を立てて勉強している生徒の正答率が高い傾向にある。

②家庭学習

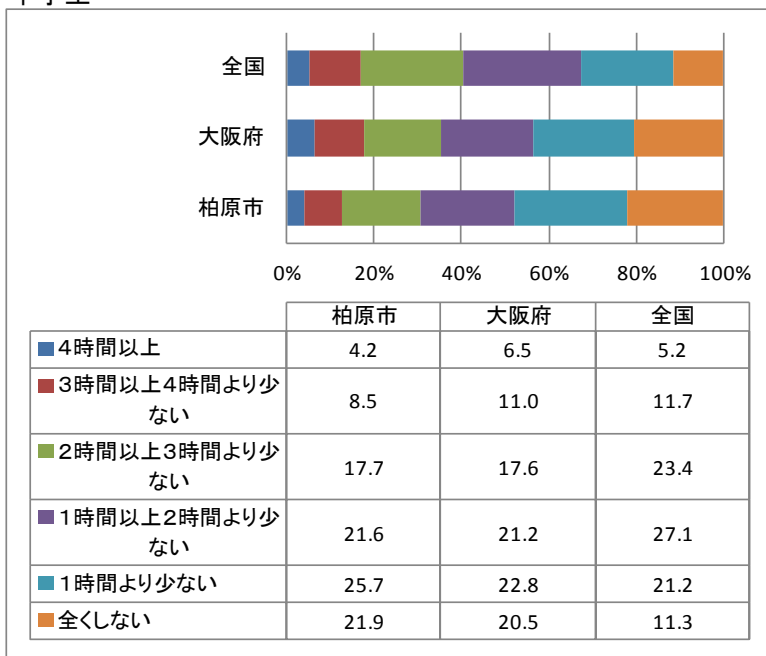
「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)」

小学生



休日の学習時間が全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭学習を4時間以上取り組む児童の正答率が高い傾向のある。

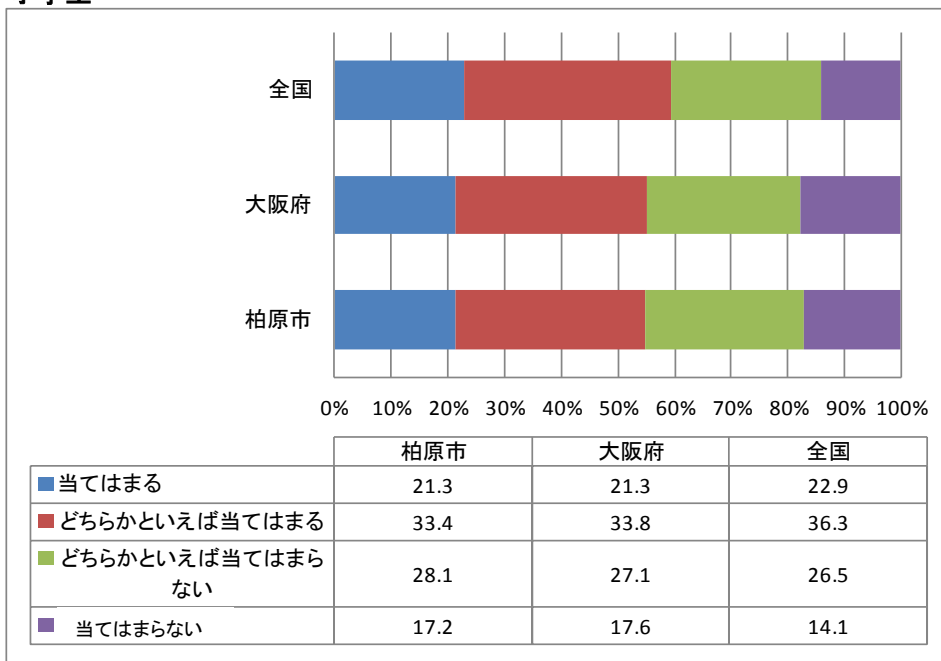
中学生



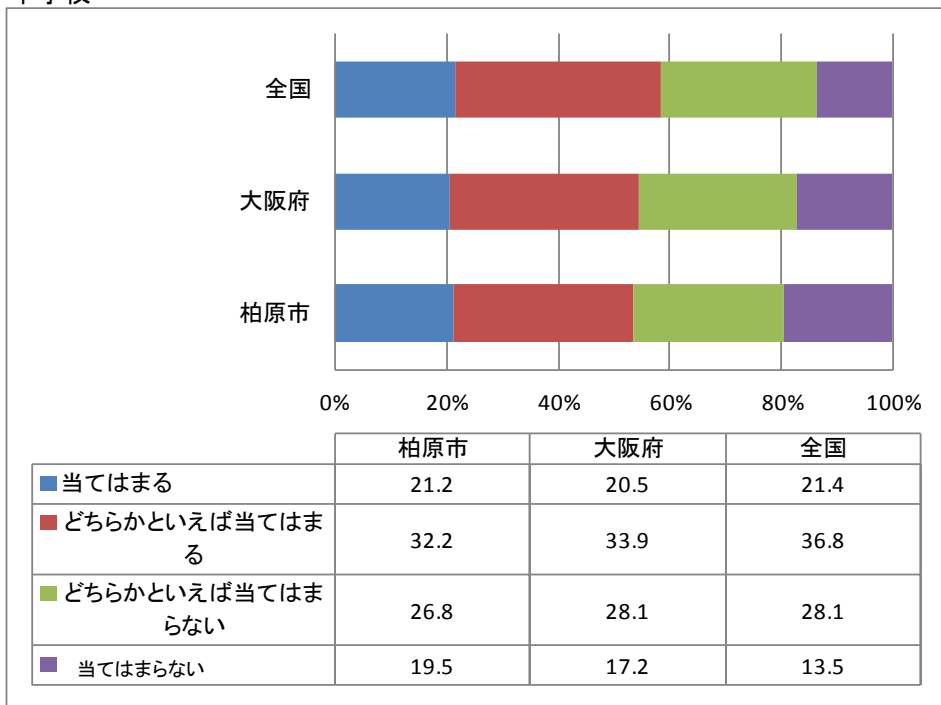
休日の学習時間が全国及び大阪府の平均より低い傾向にある。クロス集計より家庭での学習時間と正答率には比例関係に似た状況がみられる。

③学習意欲
[国語の勉強は好きですか]

小学生



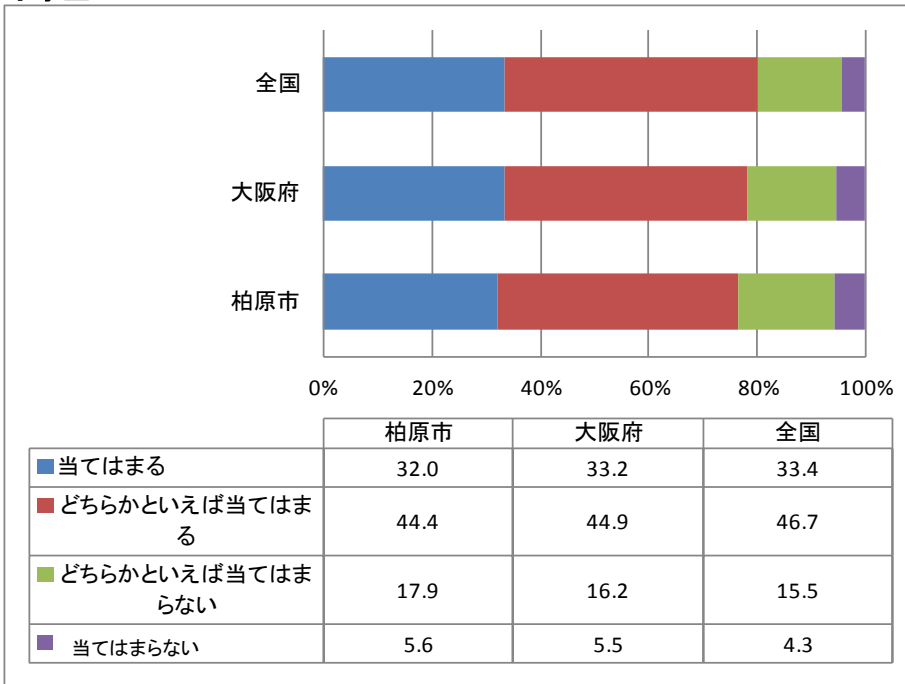
中学校



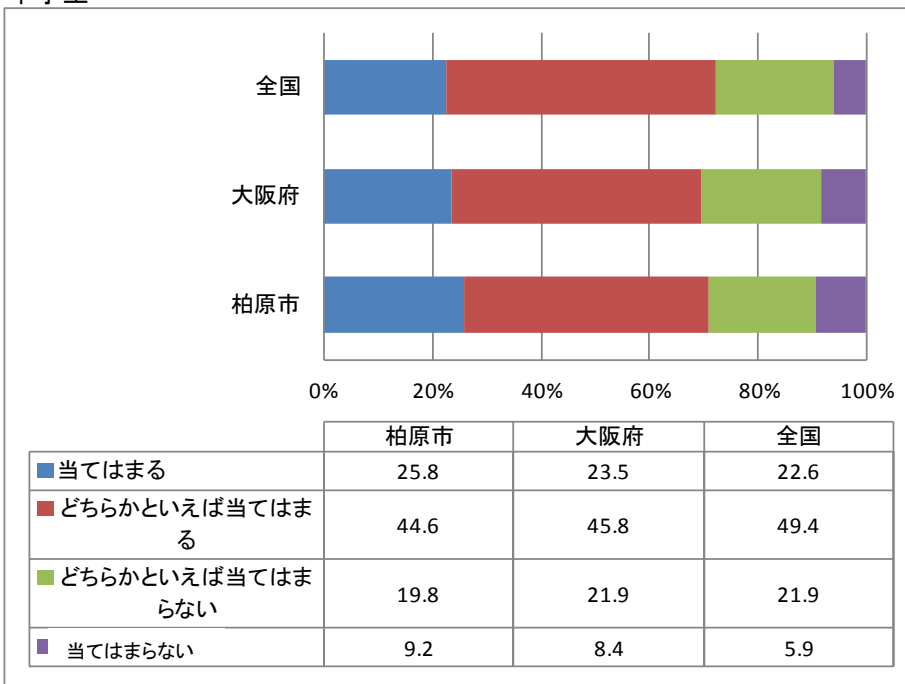
当てはまると回答した児童が昨年度に比較して微増し、当てはまらなると回答した児童が微減した。

「国語の授業の内容はよく分かりますか」

小学生



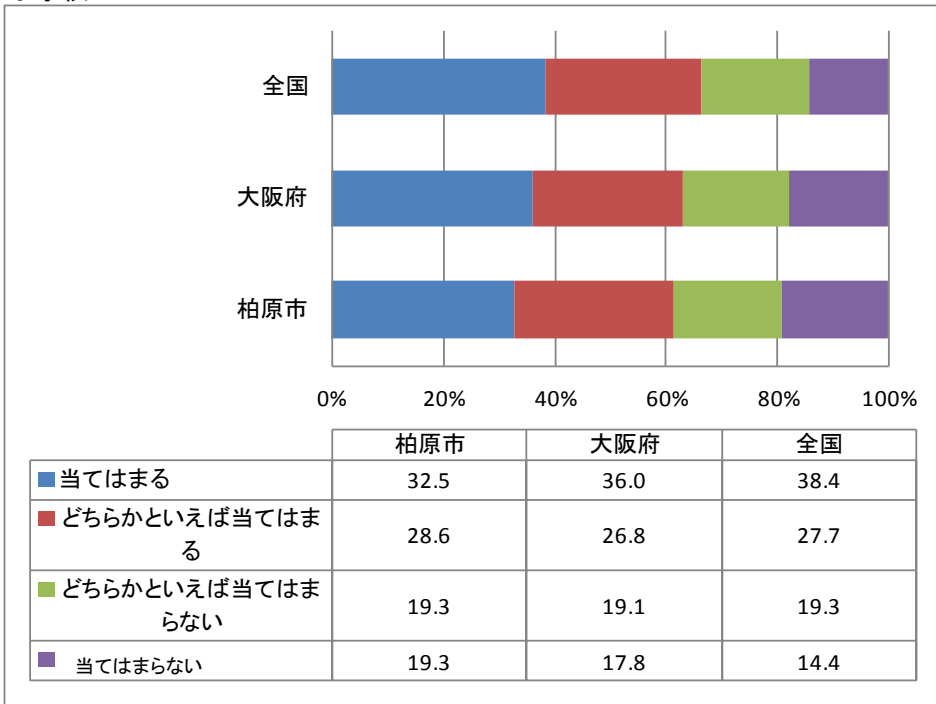
中学生



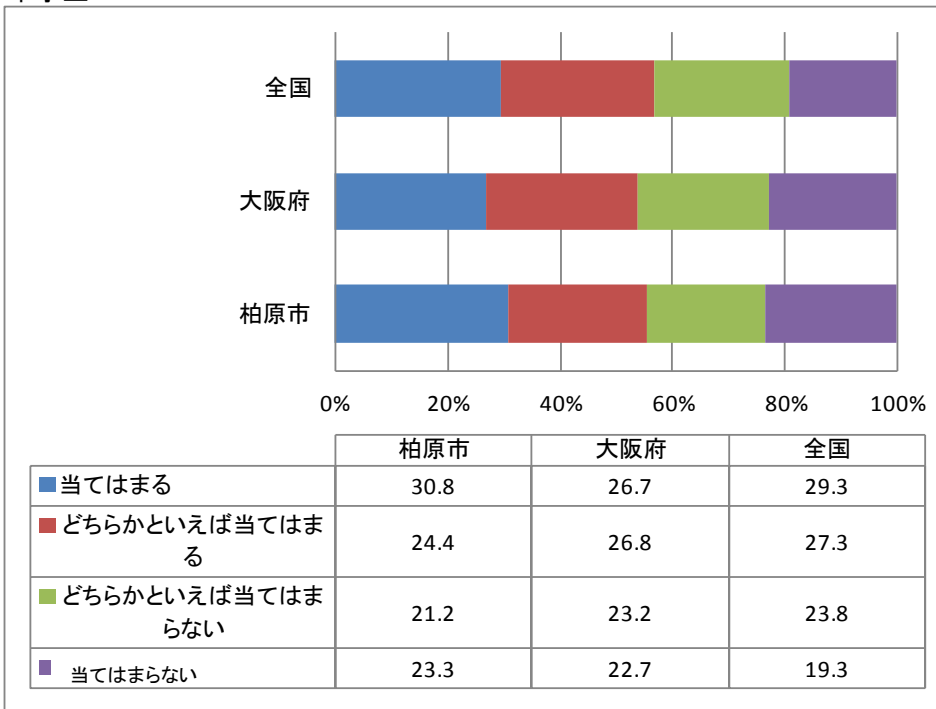
当てはまると回答した生徒が全国及び大阪府平均と比較して多い。

[算数・数学の勉強は好きですか]

小学校



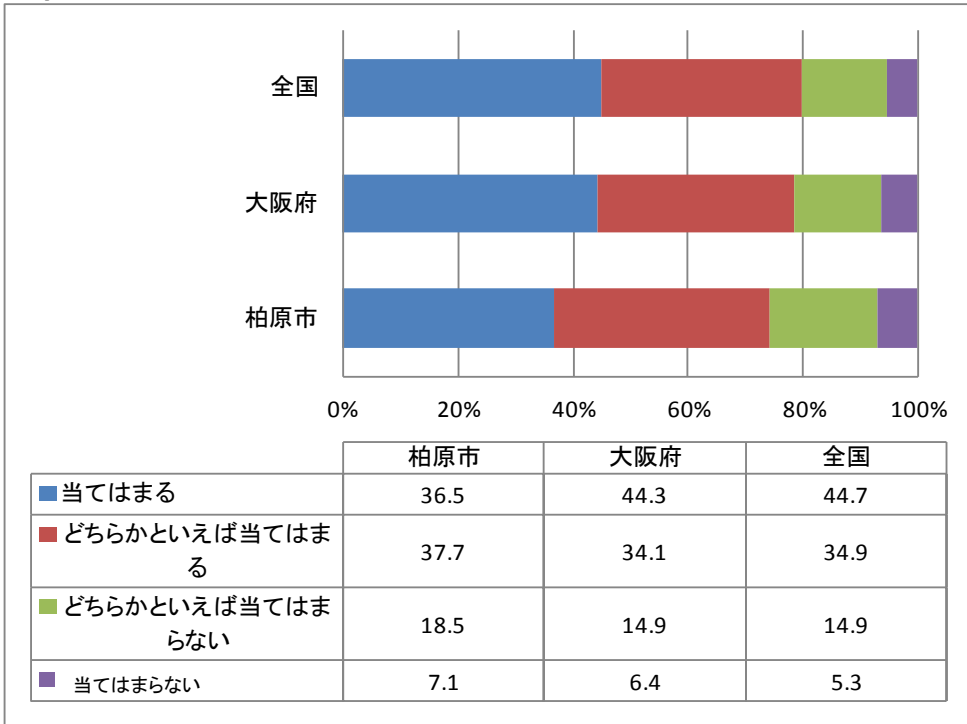
中学生



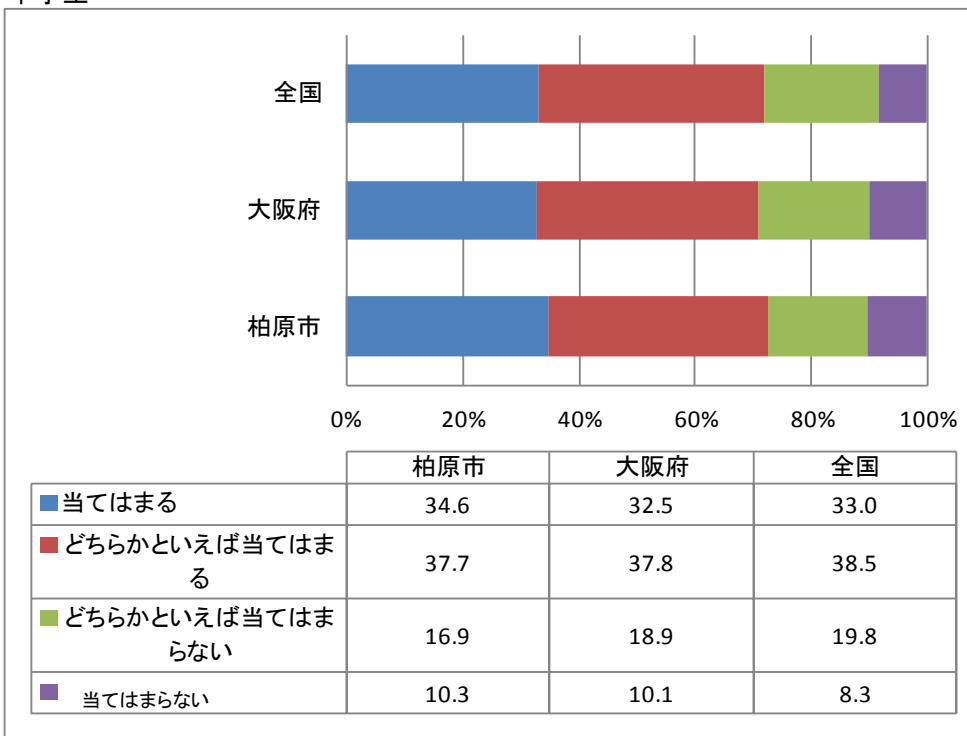
昨年度と比較して当てはまると回答した生徒が増加し、あてはまらないと回答した生徒が減少した。

「算数・数学の授業の内容はよく分かりますか」

小学生



中学生

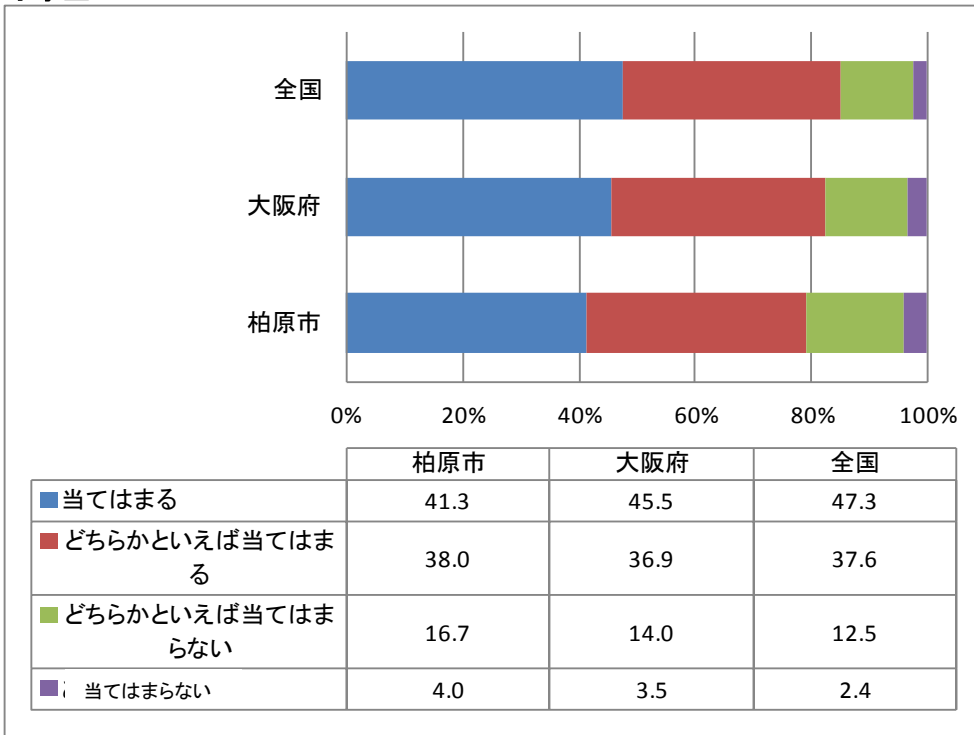


昨年度と比較してあてはまらないと回答した児童生徒が微増した。

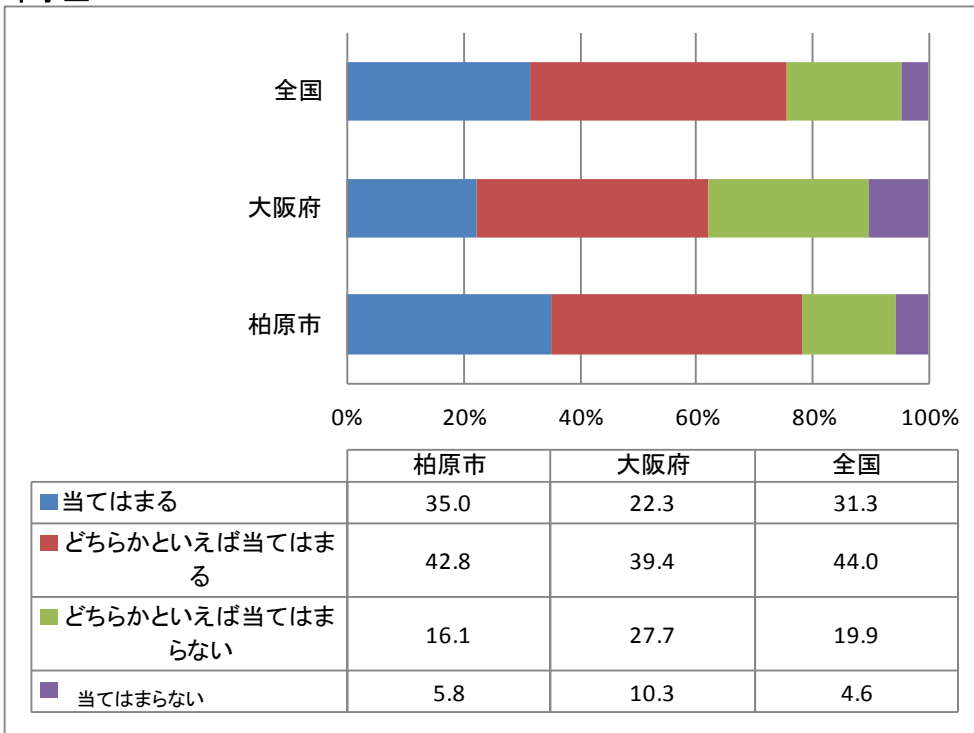
本市の特徴的なものから

「普段の授業では、みんなと話し合う活動をよく行っている」

小学生



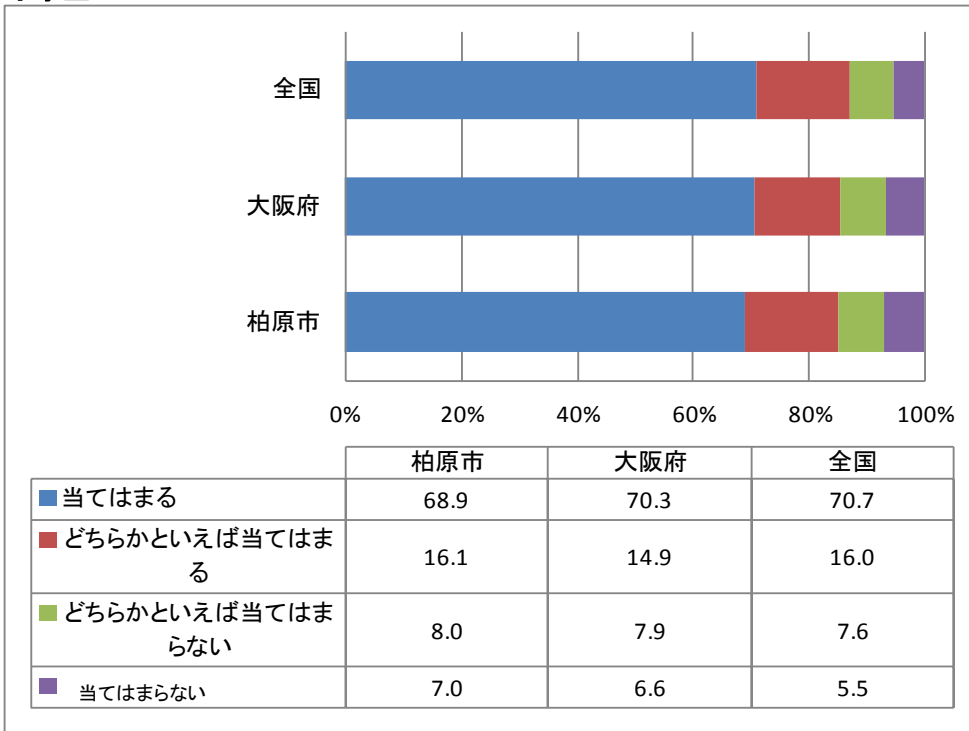
中学生



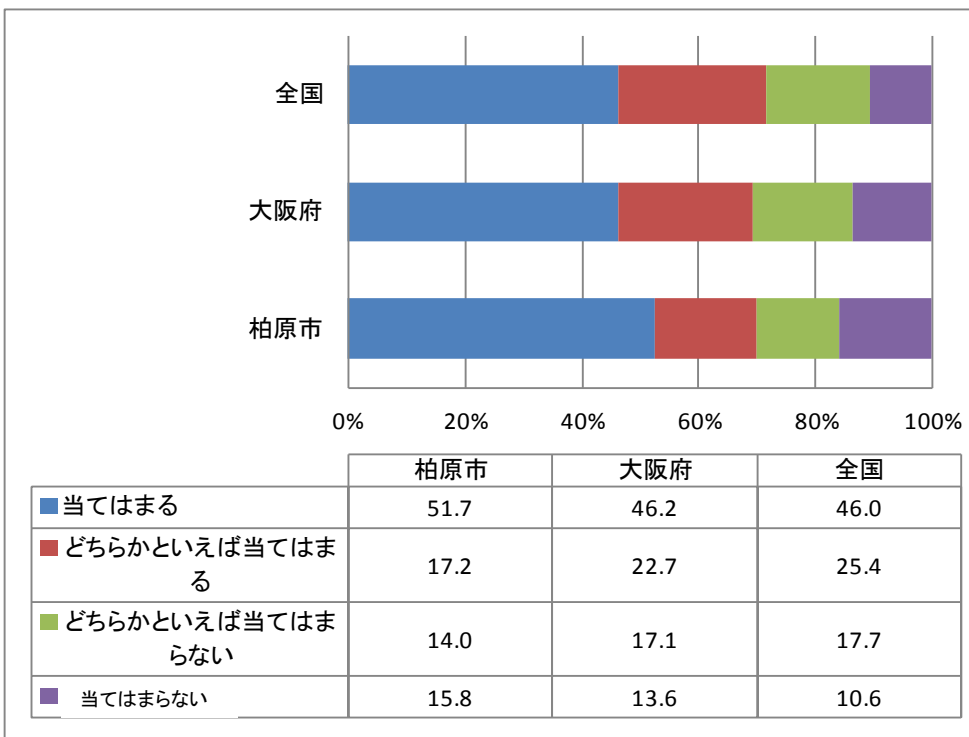
中学校では話し合いを中心とした授業がすすめられており、全国及び大阪府平均を大きく上回っている。

「将来の夢や目標を持っていますか」

小学生



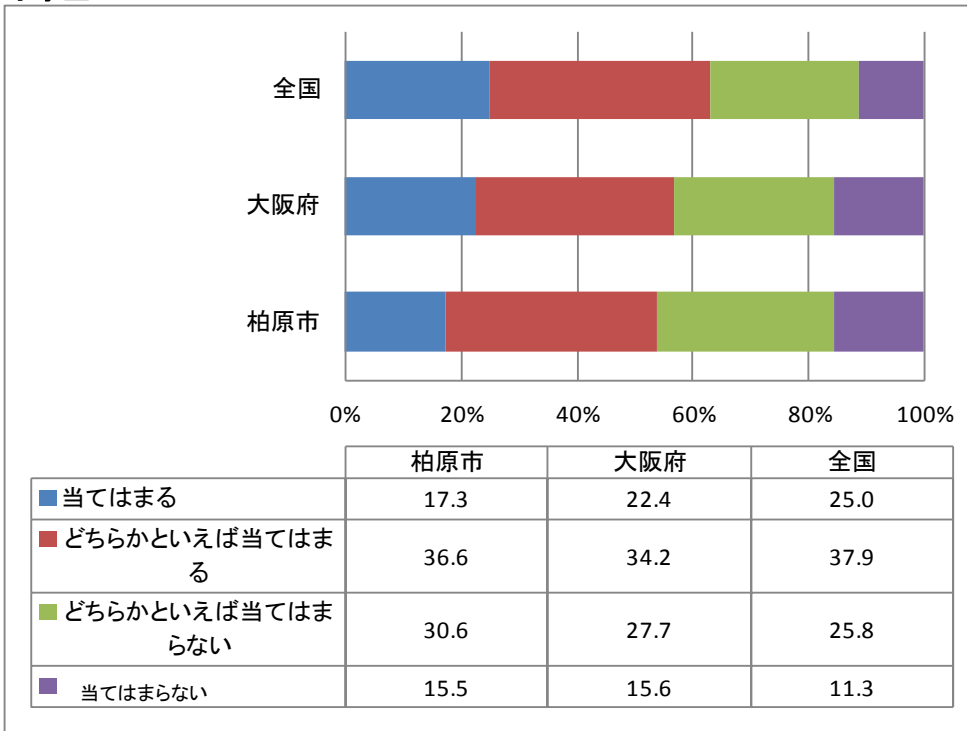
中学生



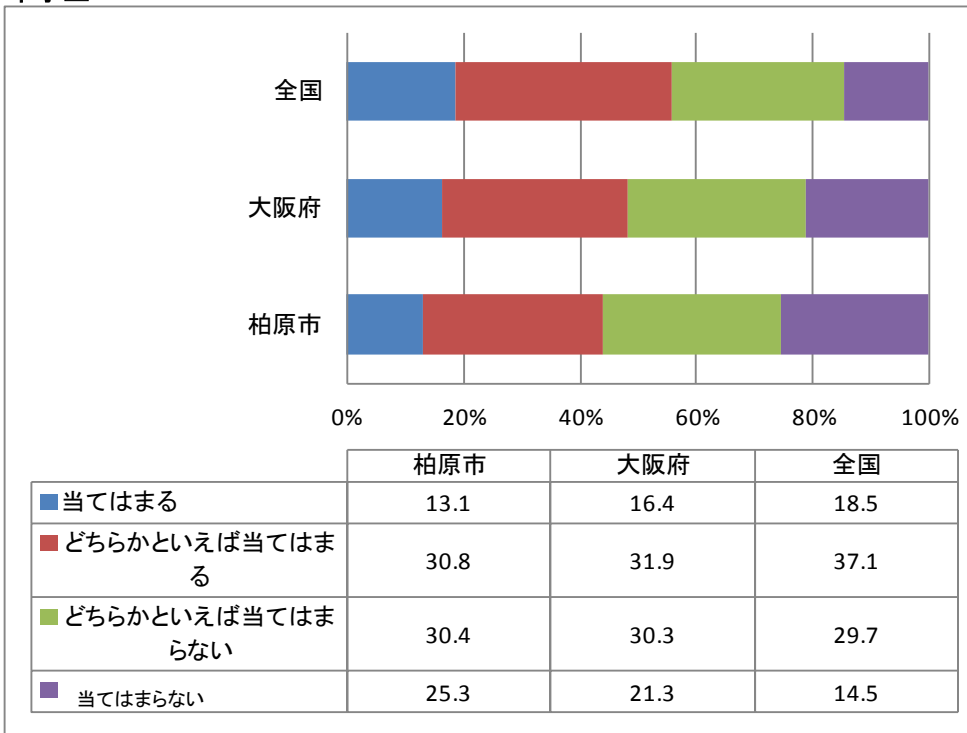
当てはまると回答した割合が、中学校において、全国及び大阪府平均より上回っている。

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」

小学生



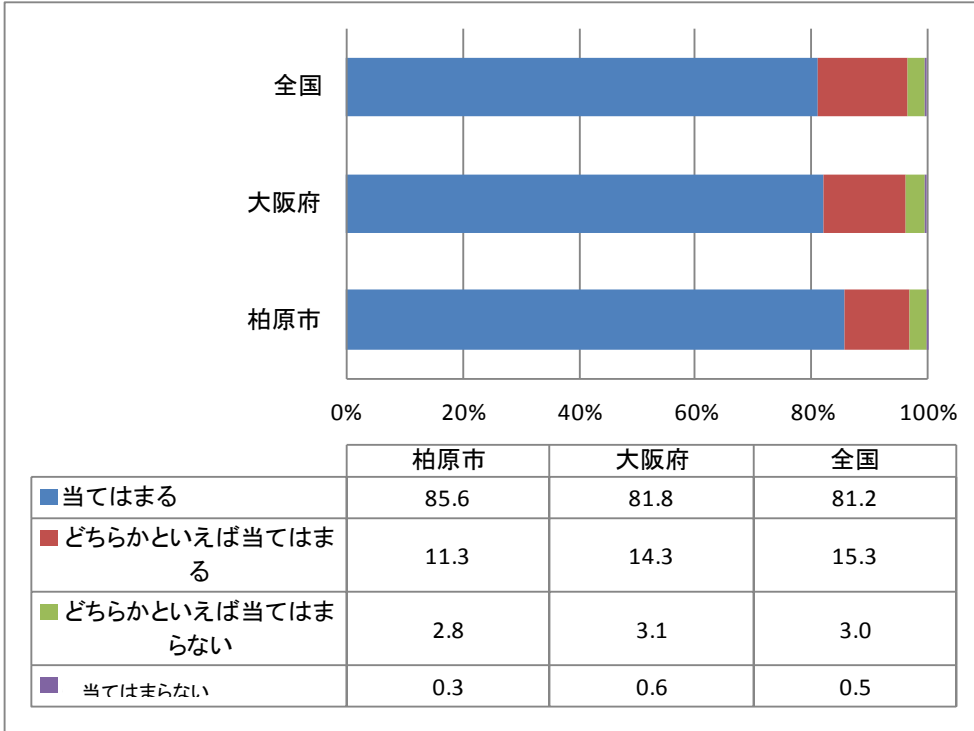
中学生



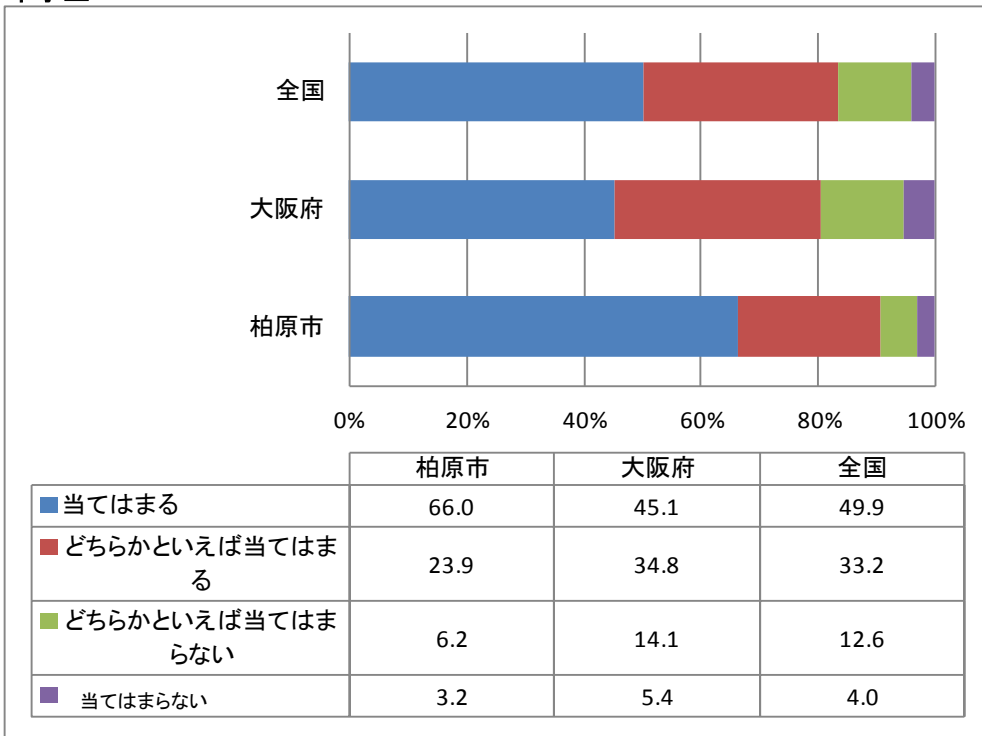
社会や地域に対する関心が児童生徒ともに、全国及び大阪府平均に比べ低い傾向がある

「家の人(兄弟姉妹を除く)は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか」

小学生



中学生



児童生徒とも全国及び府平均を大きく上回っている。